

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（9月4日-11日）の新規陽性者数は7,554人（先々週13,087人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)^{*1}は0.64 [最小値0.31-最大値0.91]、このうち那覇市は0.62 [0.39-0.85]でした。また、宮古は0.70 [0.01-1.33]、八重山は0.72 [0.10-1.84]でした（図1）。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部473人（先々週995人）、中部2,324人（先々週3,817人）、那覇市1,508人（先々週2,865人）、南部2,517人（先々週4,415人）、宮古319人（先々週434人）、八重山373人（先々週476人）と、全県的に着実に減少しています（図2）。

また、感染を確認した県外からの渡航者（7日間合計）は40人（先々週79人）でした（図3）。本土流行の減少を受けて、渡航者に認める陽性者数も減少しています。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満1,212人（16%）と最多であり、30代1,198人（16%）、40代1,155人（15%）と続きます（図4）。すべての年代で減少しており、先週までは、学校再開の影響は明らかではありません（図5）。

入院患者数推移

入院患者数は先週末時点で487人（9月4日時点653人）であり、このうち酸素投与など中等症患者は233人（9月4日時点316人）と減少が続いています。一方、気管挿管など重症患者も7人（9月4日時点13人）と減少しています（図6）。

高齢者施設や障がい者施設など社会福祉施設で療養している陽性者は、先週末時点で75施設468人（9月4日時点619人）と減少が続いています（図7）。

入院受療率と致死率の推移

年齢階級別にみる入院受療率と致死率の推移を、2021年下半期（7月-12月）、2022年上半年期（1月-6月）、および第7波にあたる2022年7月-8月において集計しました。

入院受療率は、年齢とともに上昇しますが、オミクロン株となってからの2022年上半年期と比しても、今回の第7波は低下しています（図8）。ウイルスの病原性の変化のほか、ワクチン接種が進んだことに加えて、感染者数が増えて入院できなくなったこと、あるいは施設療養の体制が整ってきたことなども考慮する必要があります。

致死率についても、デルタ株を中心とした2021年下半期と比すれば、オミクロン株による2022年では、すべての年代において大きく低下しています（図9）。やはり、ウイルスの病原性の変化のほか、ワクチン接種が進んだことが影響しているものと考えられますが、民間検査所におけるPCR検査が無料化するなど、2022年から検査アクセスが向上しているため、感染者の捕捉率が上昇したことを考慮する必要があります。なお、

2022年上半期と比して、第7波において60代と80代の致死率がわずかに上昇していました。救急医療がひっ迫し、入院も困難となった影響がなかったか検証が求められます。

【今後の見通しと対策】

沖縄県における新規陽性者数は着実に減ってきており、今週の新規陽性者数は5,000-7,000人へと減少すると見込みます。7,000人を下回るとすれば、4月上旬以来の低水準となります。一方、入院患者数については、いまだ第5波のピーク時を上回っており、高いレベルで継続しています。ただし、今週末までに370-400人へと減少すると見込まれ、ひっ迫状態は改善すると期待されます。(図10)。

今後の流行について不確実性があるものの、昨年の経験に従えば、12月までは減少した状態が継続するものと考えられます(図11)。ただし、地域流行は継続しているため、感染対策が不十分のままイベントが繰り返されるなどした場合、冬を待たずに再流行することも考えられます。また、ウイルス変異によって流行が早まる可能性もあります。

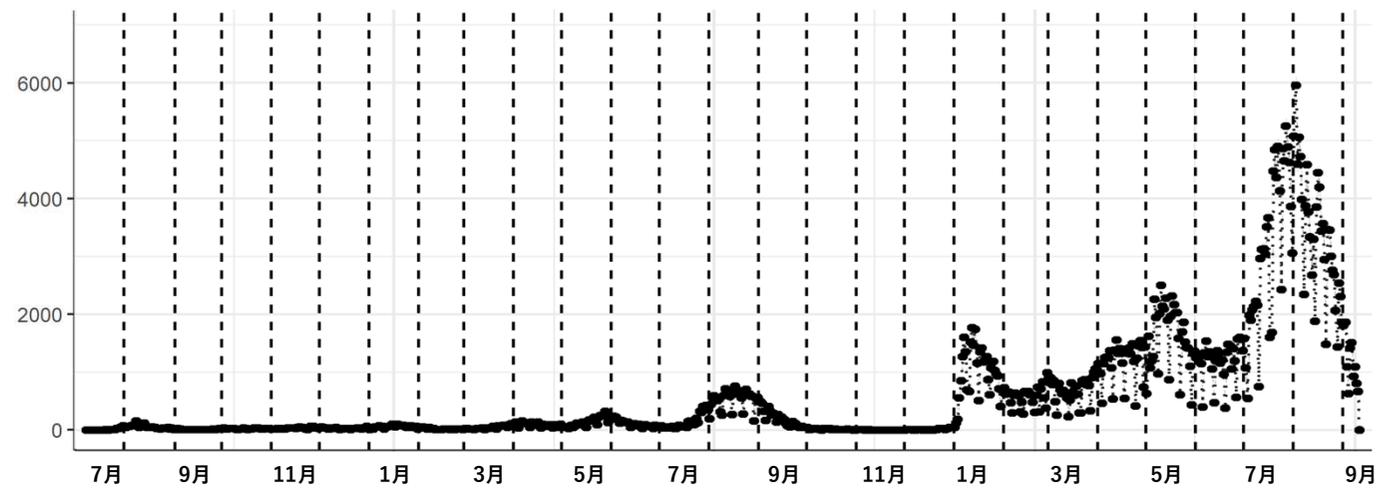
なお、沖縄県内におけるインフルエンザの定点報告数は、8月29日の週には35人(北部4人、中部16人、那覇市2人、南部8人、宮古4人、八重山4人)と増加してきています。流行開始の目安は、定点報告数が57人(定点あたり1人)を上回ることとされており、例年よりも早く流行が始まる可能性があります。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)

日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

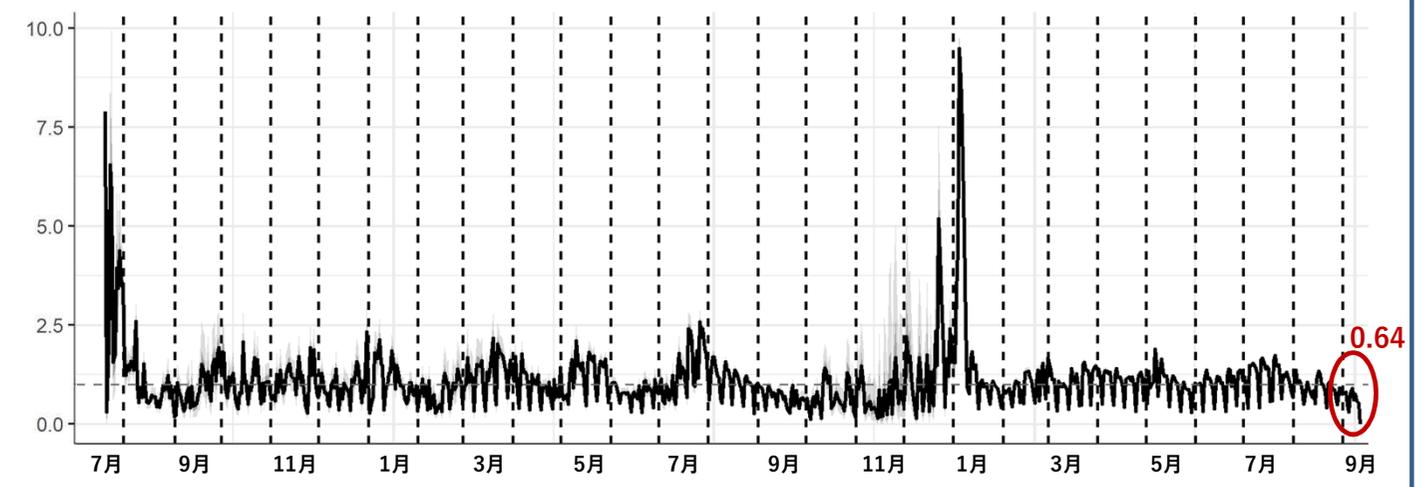


図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

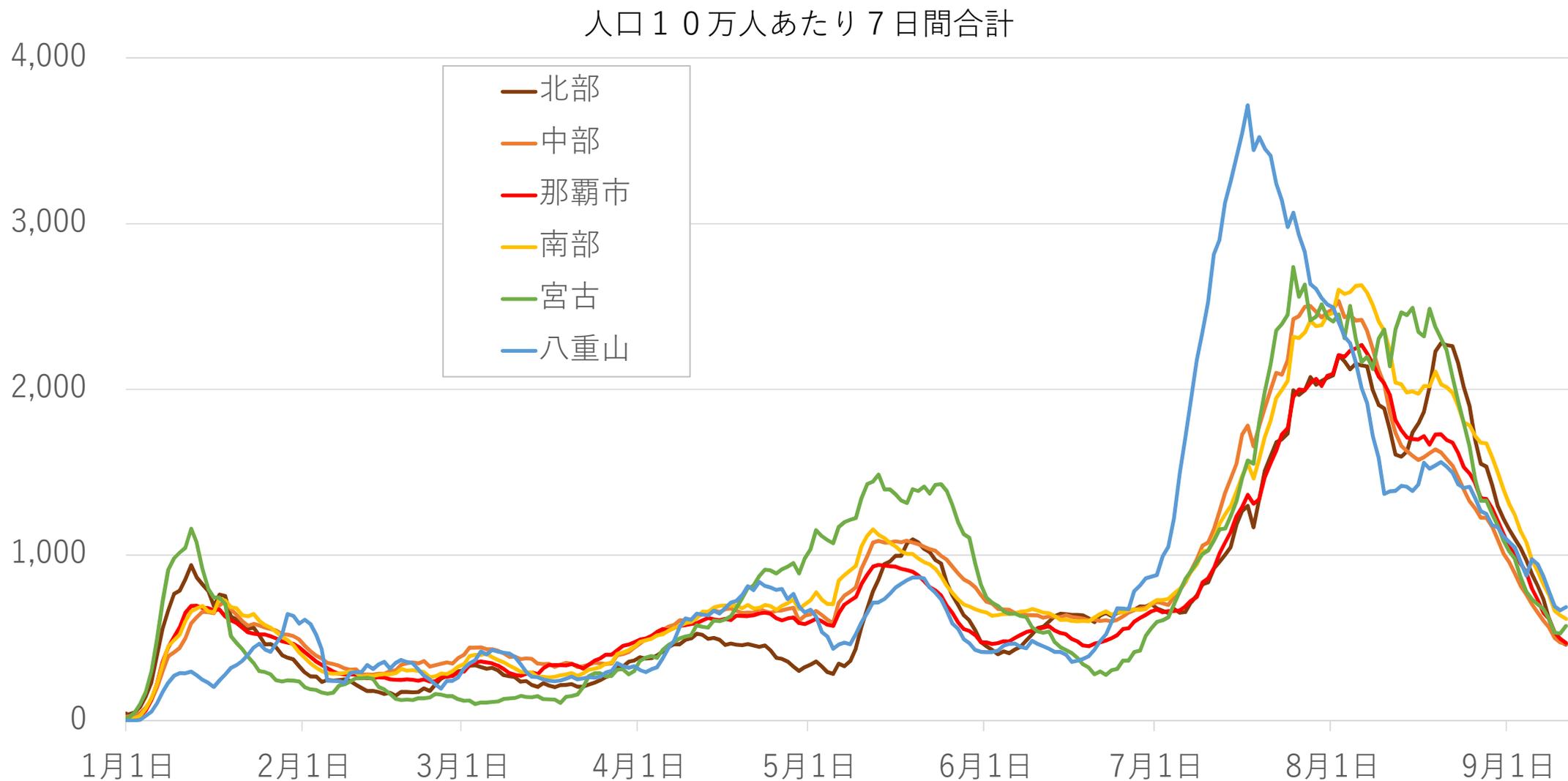


図3 県外からの渡航者における新規陽性者数の推移（沖縄県）



図4 性年齢階級別に見る陽性者数 (9月5日~11日)

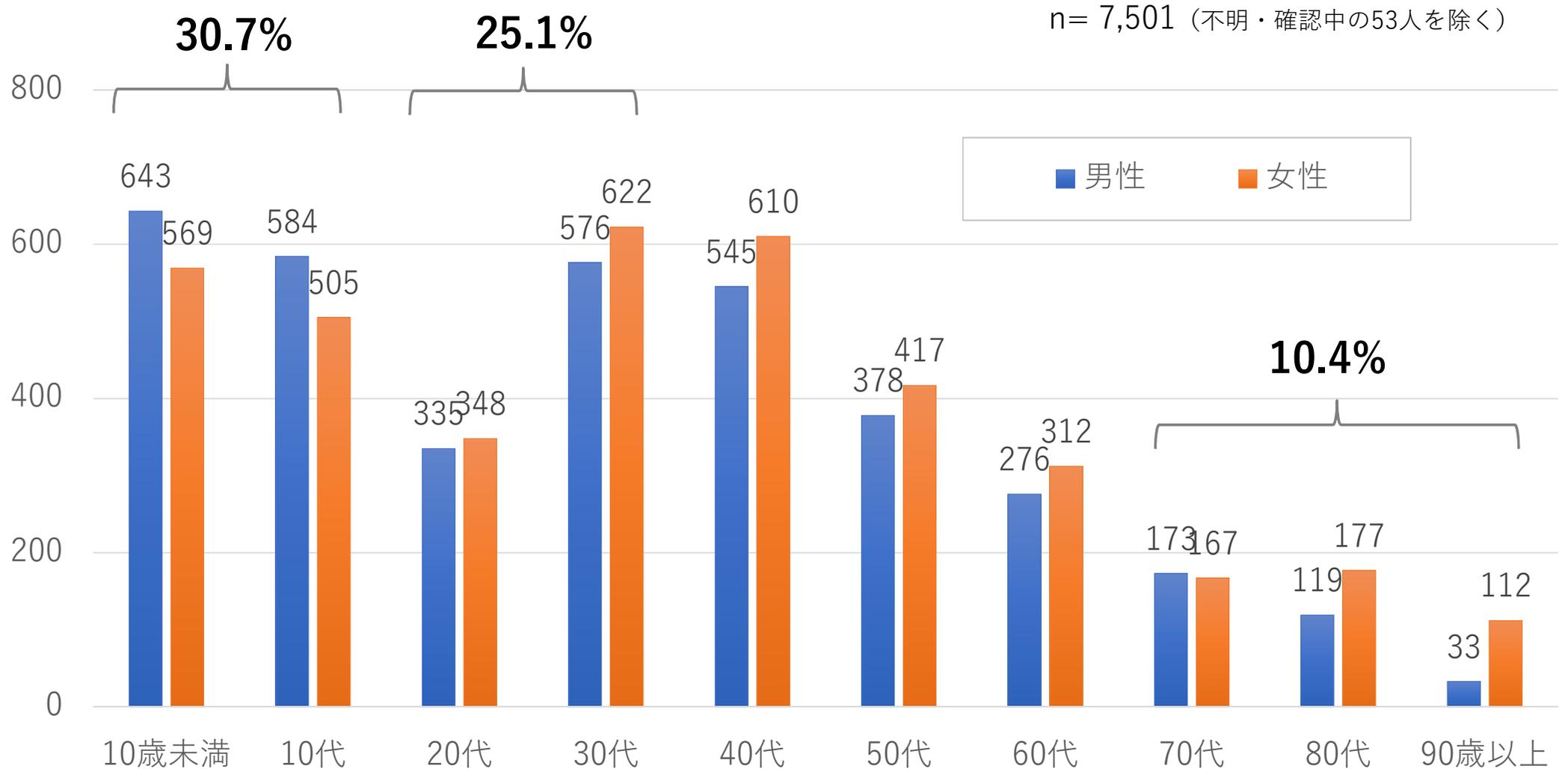


図5 年齢階級別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

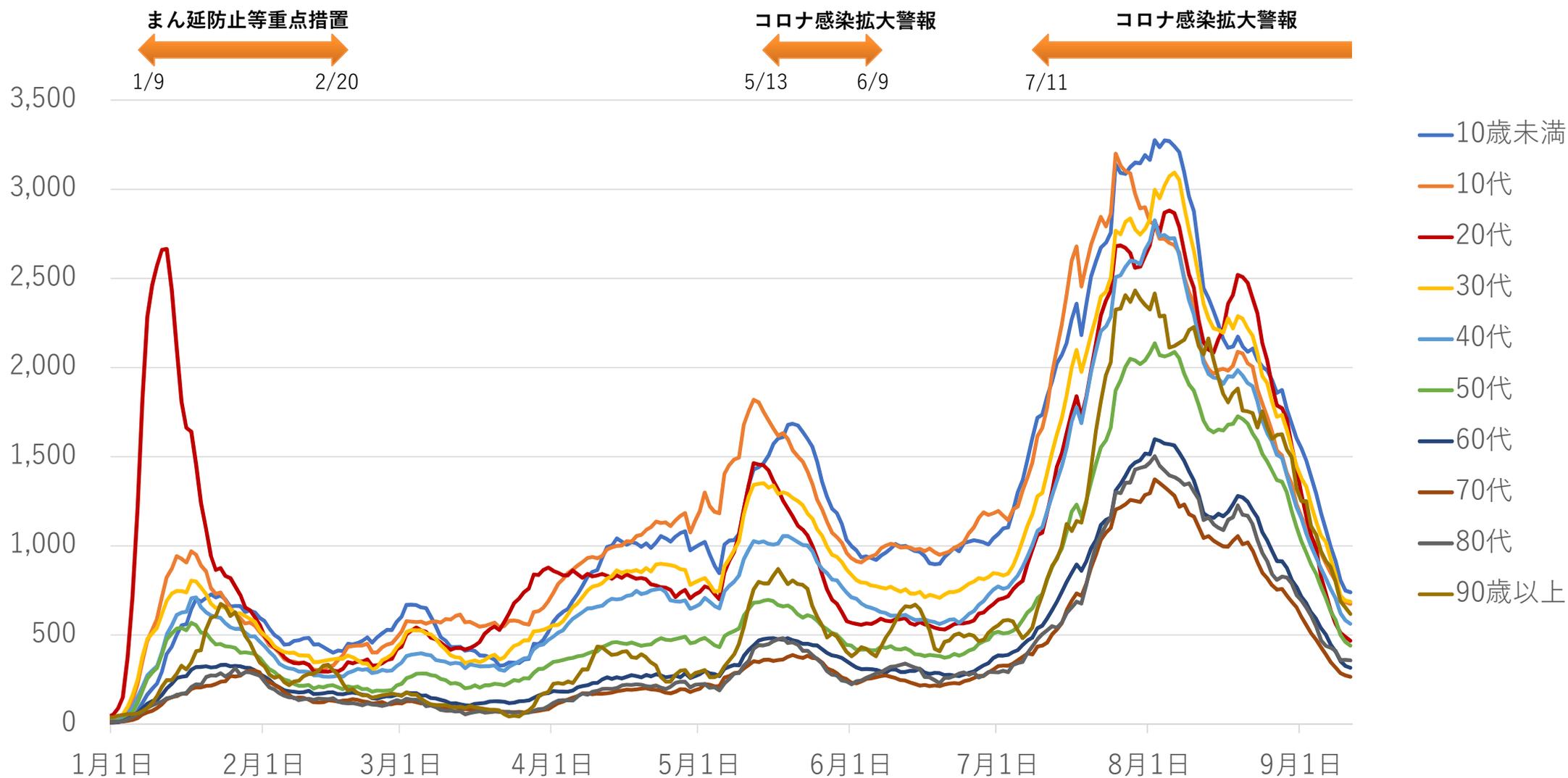


図6 新規陽性者数と重症度別入院患者数の推移

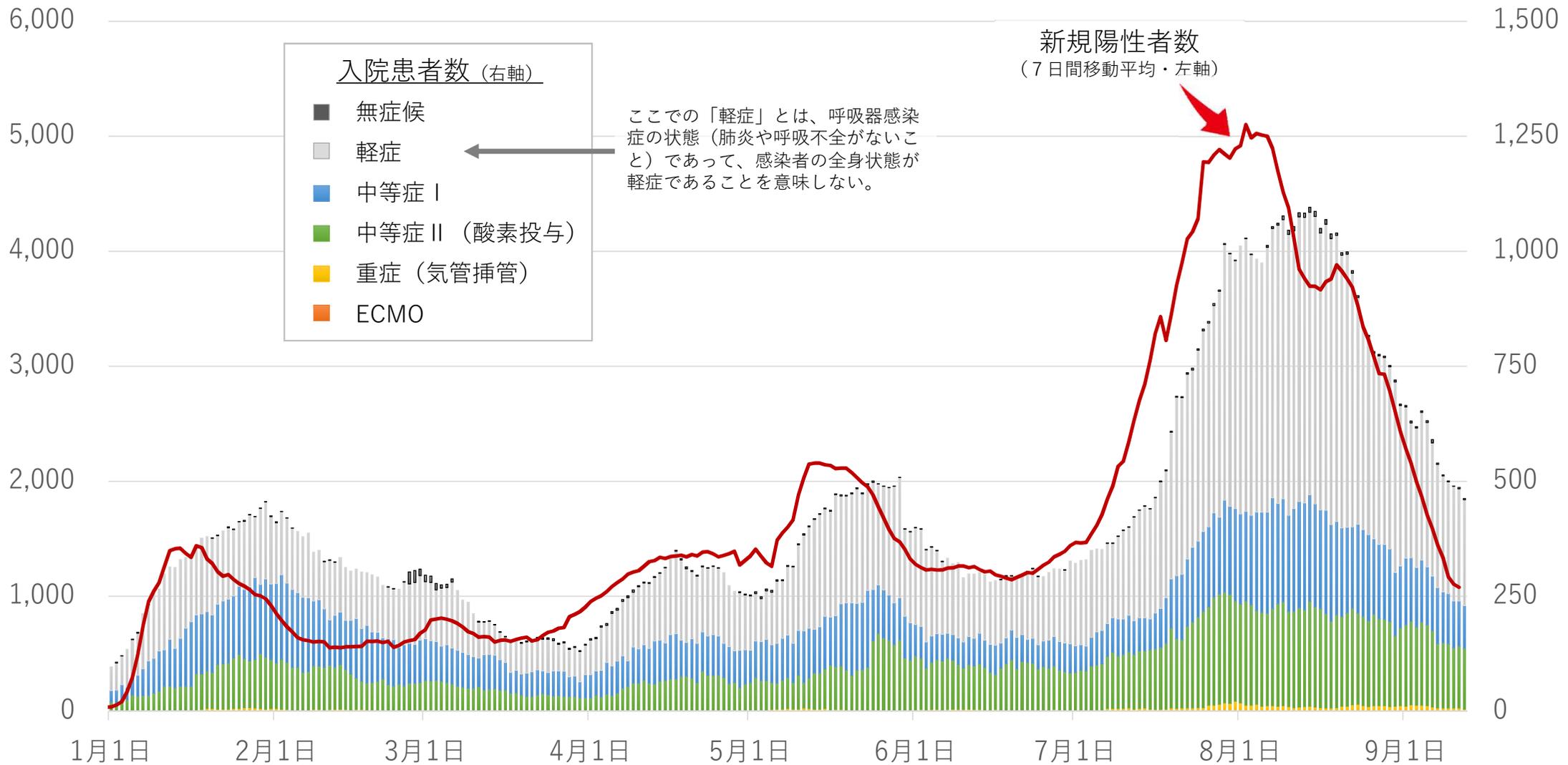


図7 社会福祉施設における施設内療養者数

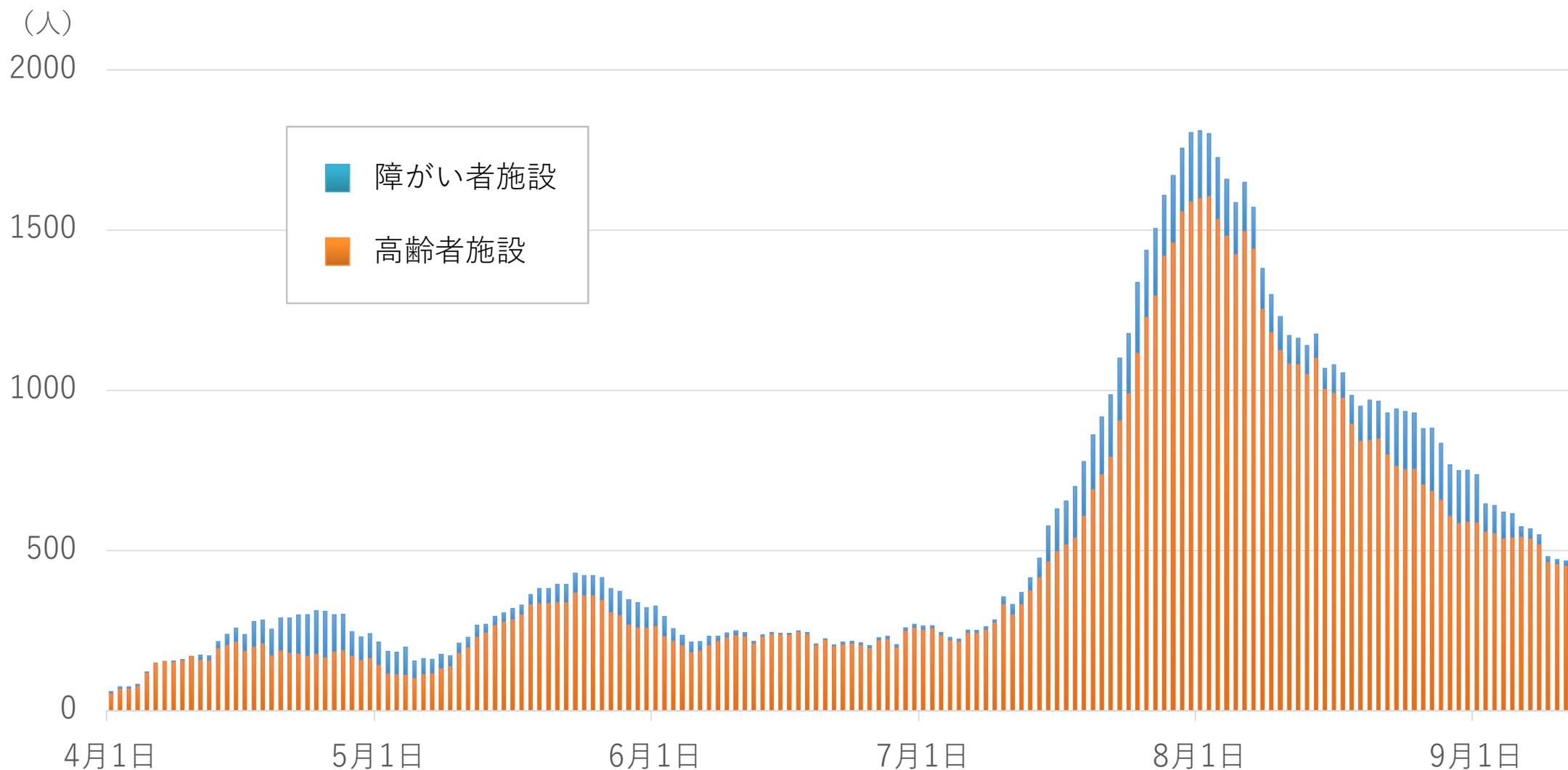
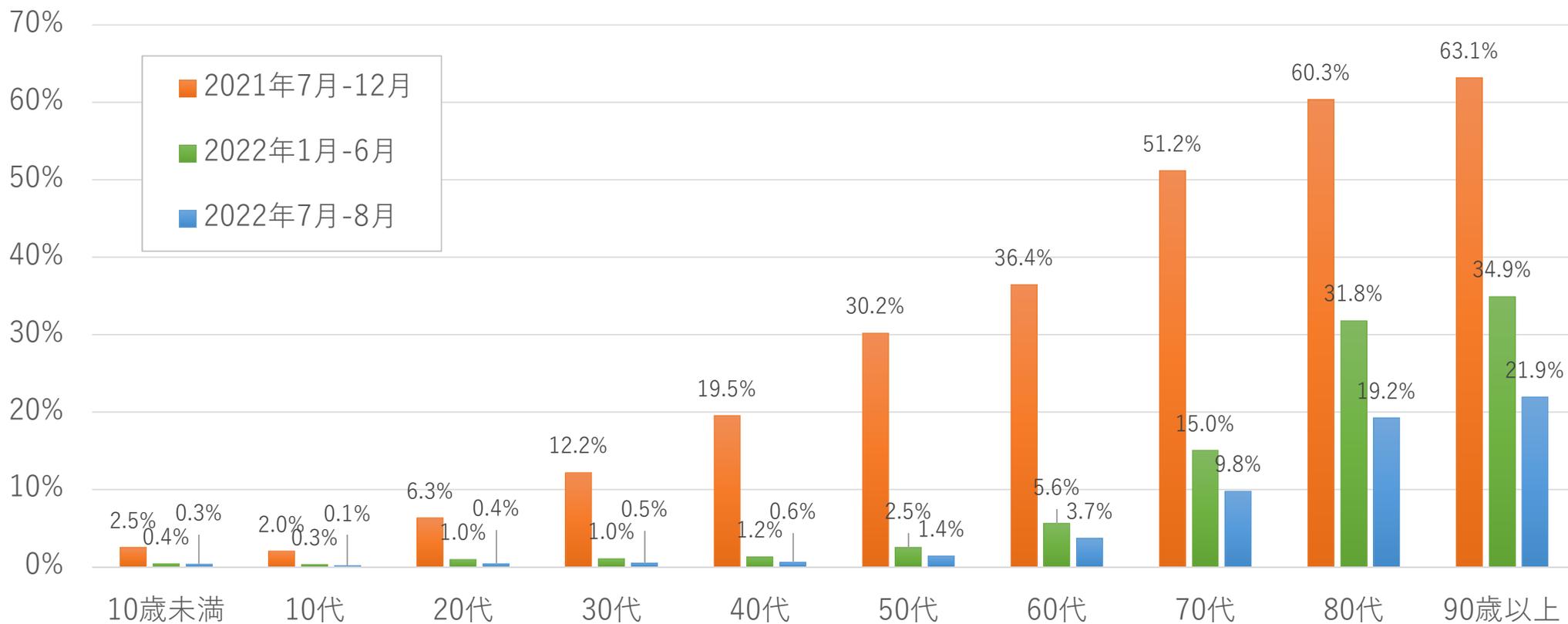
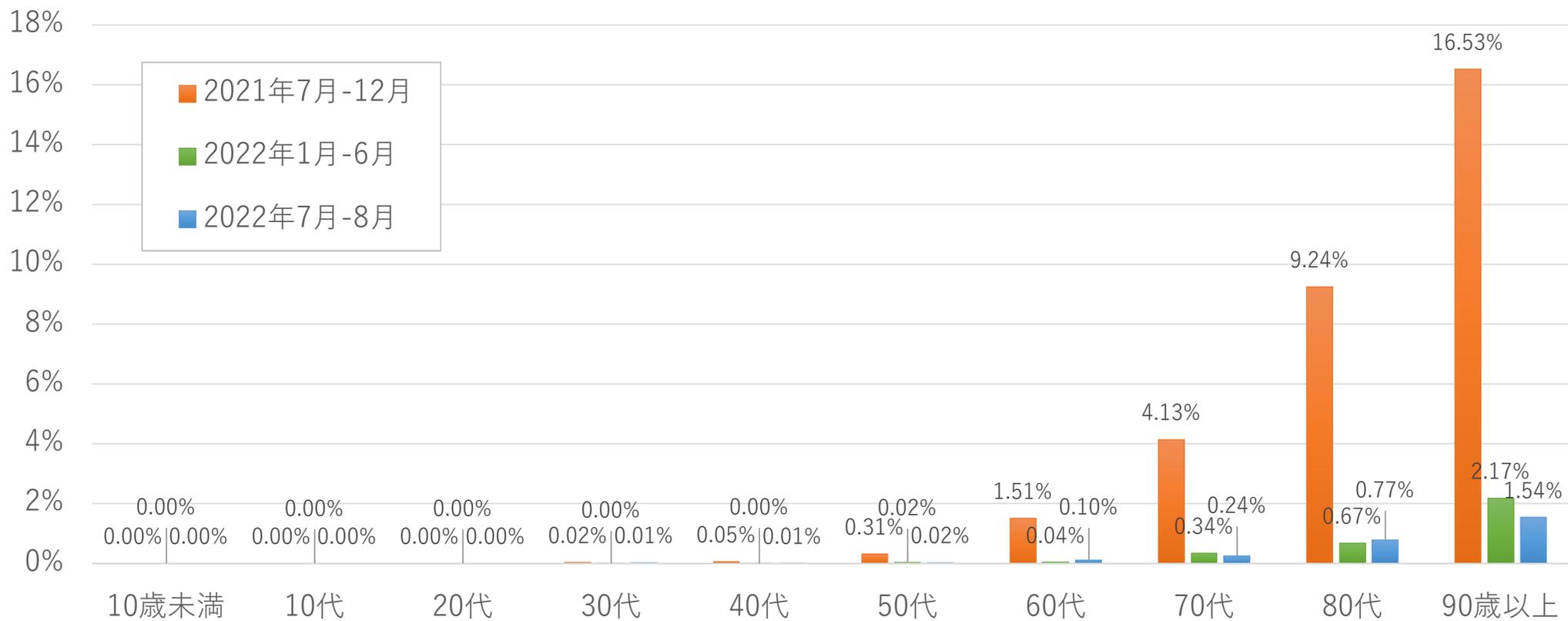


図 8 年齢階級別にみる入院受療率の推移（沖縄県）



入院患者数 (人)	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上
2021年7月-12月	87	86	419	612	852	887	604	396	333	149
2022年1月-6月	125	92	283	321	374	455	689	970	1423	756
2022年7月-8月	116	44	98	157	203	333	647	1003	1394	755

図9 年齢階級別に見る致死率の推移（沖縄県）



死亡数 (人)	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上
2021年7月-12月	0	0	0	1	2	9	25	32	51	39
2022年1月-6月	0	0	0	1	1	4	5	22	30	47
2022年7月-8月	0	0	0	4	3	4	17	25	56	53

図10 今後1週間（9月12日-18日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）			入院患者数（9月18日時点）		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
沖縄本島	3,486	7,019	14,135	338	398	496
宮古圏域	145	291	586	9	11	14
八重山圏域	179	361	727	10	12	16
合計	3,809	7,671	15,447	357	421	526

図11 沖縄県における前週比（7日間移動平均）の推移

